

人は、見抜かれるのではなく、透ける。

洞察でもない。
直感でもない。

読むという行為の手前で、
すでに現れている。

分析ではない。
観察でもない。

測ろうとする前に、
もうそこにある。

言葉を選ぶ前に、
姿勢が出る。

整える前に、
声が揺れる。

間が、残る。
沈黙が、ずれる。

そこに、
消えないものがある。

隠そうとすることと、
そのまま現れてしまうこと。

整えようとする事と、
崩れないこと。

同時に起きている。

それは、判断ではない。

ただ、残る。

Edition — 存在の芯
別景：透ける

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026